

〈目次〉

インターンシップを終えて	P 2
新教科「人間と社会」年間指導計画	P 3
東京都立大森高等学校インターンシップの概要	P 4

〈本編〉

1. インターンシップ実施前後スケジュール	P 5
2. インターンシップ受入れ先企業一覧	P 6
3. 事前事後指導用生徒配布資料（一部）	P 7
4. 企業からのインターンシップについてのアンケート	P 9
5. インターンシップ自己評価集計結果	P 1 1
6. インターンシップ実施成果報告	P 1 2
7. インターンシップを終了した生徒の感想文	P 1 3

インターンシップ報告会

平成 28 年 3 月 15 日（火） 11：00 より

視聴覚ホールにて開催

インターンシップ体験を終えて

校長 金澤利明

本校の3年間を通じたキャリア教育のテーマは、「自分の夢を実現させよう!」です。1年生では「自分の夢をさがそう」、2年生では「自分の夢を見つけよう」、そして3年生では「自分の夢をつかもう」です。本校では、皆さんの希望進路実現のために様々なプログラムを考えています。

本校の役割は、高校を卒業したら、健全な職業観、社会観をもってきちんとした生活ができる人間に育てることと考えています。このことを進めるために、初めてインターンシップを実施しました。これは新教科「人間と社会」という授業科目の取り組みの一環です。

インターンシップを行うことは、皆さんに働くことの意義を考えてもらうことを第一の目的にしました。また、服装・頭髪、言葉遣いなど社会生活を送る上でのマナーを、学校の先生以外の大人の人から学ぶことの他、他の人との協同、協調の気持ちを養うこと、インターンシップの体験を通じて、自分の興味・関心・適性を知り、自らの進路希望選択の視野を広げることをねらいとしています。さらに、インターンシップの振り返りの中で、自己の体験活動をこのような報告書の文書にまとめたり、家庭で保護者の方にその体験を話したりして、体験を客観化していくことも大切です。

さて、働くことの目的は人によって様々です。その就いた仕事にやりがいを見出す人もいれば、生活のための報酬を得ることが目的の人、また仕事を通じてさらに大きな意義・大義を見出す人もいます。しかし、仕事をするからには、やはり自分に合った仕事を見つけ、やりがいを見出すことが必要です。今回のインターンシップはわずか3日間ですから、このことだけで、自分にとっての働くことの意義や、やりがいを見つけることは難しいかもしれません。しかし、その一端だけでもここで触れることができたのではないのでしょうか。

インターンシップ体験の受け入れに当たっては、本校周辺地域の方々、大田区のキャリア教育推進協議会21（「CP21」）、国際ロータリークラブ、本校同窓会、本校PTA等、様々な皆さんのご協力があって、取り組みを進めることができました。

ここで改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。引き続きこれからもご支援ご協力を頂きたく存じます。

結びに石川啄木の歌を紹介します。高校・大学等を卒業して就職したときに、こういった充実感が得られることを願っています。

こころよき疲れなるかな 息もつかず 仕事をしたる後のこの疲れ

石川啄木「一握の砂」

平成27年度「人間と社会」の年間指導計画（1年）

1 単位時間の時間（ 50 ）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	新教科の意義	[事前学習] ○この科目のねらいオリエンテーション	・新教科「人間と社会」に関する基礎的な知識・理解についてワークシートにまとめて提出する	1
	5	職業ガイダンス 学ぶことの意義	○自分と社会の関わり方を学ぶ ○社会、地域に生きる一員として何ができるか		1 3
2	6	働くことの意義 ビジネスマナーについて	○社会人のマナーについて学ぶ		1 1
	9	インターンシップ受入企業について	[体験活動]		【1】
	10	インターンシップ心構え	[事前学習] ○期間内の活動の詳細 ○受け入れ先企業訪問		2
		インターンシップ事前指導			【2】
		インターンシップ体験活動		【18】	
	11	インターンシップ事後学習	[体験活動] [事後学習] ○インターンシップ振り返り学習 ○インターンシップのまとめ発表準備	・学習成果について、発表し内容を共有できたか	【4】
	12	インターンシップグループ発表	○インターンシップ体験発表発表内容の共有化		2
地域社会を築く 支えあう社会			2		
3	1	インターンシップグループ外部発表	○地域に対する学習 ・学校周辺の清掃 ○いろいろな奉仕活動を学ぶ ・高齢者福祉活動について ○インターンシップ	2 2	
	2			2	
	3			2	
配当時間数の合計					43 【 】は体験学習時数

東京都立大森高等学校インターンシップの概要

【目指す学校像】

- (1) 学習指導と生活指導を総合的に捉え、確かな学力と生活規律が身に付く学校
- (2) 希望する進路が実現できる学校
- (3) 部活動を中心に、スポーツ・文化活動を活性化し、生徒一人ひとりが活躍できる場所のある学校
- (4) 地域に根ざし、地域の誇りとなる学校

インターンシップのねらい

生徒の可能性を最大限引き出し、自己実現を図ること、社会に受け入れられる人間にすること、体験的な活動を通じて規範意識の醸成を図るとともに、主体的な進路希望選択を進める。

<インターンシップの方法>

- 11月10日(火)～12日(木)の3日間
午前9時から午後4時まで(目安)
- ◎体験生徒数 1学年240名
(1事業所当たり2～3名の受け入れ)

インターンシップ体験の具体的なねらい

- 社会生活を送る上でのマナーや、学校外の大人から様々なことを学ぶことの他、他者との協同、協調の気持ちを養うこと
- 健全な職業観、勤労観、社会観を育むこと
- 自分の興味・関心・適性を知り、自らの進路希望選択の視野を広げること

《教育課程の位置づけ》

1単位の東京都独自科目「人間と社会」に位置づけて、年間を通じて指導を行い、3日間のインターンシップ体験はその中核となり、授業の一環になります。

《インターンシップ体験での保険等について》

- ◎生徒自身の保険
学校の教育活動の一環であるので、「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」が適用
- ◎事業所及び物品等の破損について
体験期間中の3日間の損害賠償保険に加入
- ◎衛生検査 体験先によって衛生検査を実施
- ◎生徒の交通費
自転車等を利用する他、諸費用は自弁

インターンシップの指導

- ① 事前指導 毎週水曜日の6時限目に授業を行い、夏休み前に体験先を決定し、10月には事前訪問
- ② 期間中の指導
担当教員が体験先を巡回指導
- ③ 事後指導 体験活動終了後は、体験をレポートにまとめるとともに、年度末には体験発表等を実施

問い合わせ先 東京都立大森高等学校 全日制課程

〒144-0051 東京都大田区西蒲田2-2-1

電話 03-3753-3161 副校長 齊藤 聡

1. インターンシップ実施前後スケジュール

日程		時間	内容	備考	形態	場所
10月 23日	金	2時間目	「自己紹介カード（配布済）」、 「インターン事前訪問確認メモ（配布済）」の記入。 アポ取り電話指導。	いつアポを取るかリーダーと調整して、電話の立会までお願いします。アポ取りは28日（水）までお願いします。電話の結果を用紙に記入して進路部に提出させてください。 その場で未決定、不在等の場合は後で各自で連絡取り合って遅くとも30日（金）までに報告すること。 先方が都合悪くても全員行く。 対応不可の場合は建物の前で写メ→担当教員に見せる。	グループ別	各部屋
10月 28日	水	5時間目	事前訪問アポ取り等	23日（金）の続きおよびアポ電話等。 事前訪問当日の動きの確認（交通手段等。みんなで行くこと）。	グループ別	各部屋
11月5 日	木	5時間目	事前訪問前の諸注意、 出欠確認等	「自己紹介カード（配布済）」、「インターン事前訪問確認メモ（配布済）」、「誓約書（配布済）」、「事前訪問確認のお願い（配布済、代表のみ、回収）」 持参 終わったら学校（進路部）へ報告。	グループ別	各部屋（授業ある人除く）
		13:30～	事前訪問		事業所別	事業所
11月6 日	金	5、6時間目 終わり次第 放課	インターンシップ事前 指導	諸注意、服装チェック、「自己評価表」、「日誌」3枚、「報告書」の配布	学年全体	視聴覚ホール （授業ある人除く）
11月9 日	月	5、6時間目 終わり次第 放課	インターンシップ事前 指導	最終諸注意。6日（金）の欠席者対象に個別指導。	学年全体	視聴覚ホール （授業ある人除く）
11月10日（火）～12日（木）		インターンシップ当日			生徒各自	
11月 13日	金	1、2時間目	インターンシップ事後 指導	「自己評価表」回収、「報告書」、「礼状」、 作成	グループ別	各部屋（授業ある人除く）
11月 18日	水	5時間目	インターンシップ事後 学習（発表準備）	企業ごとに発表。個人の発表も。グループ内で行う。	グループ別	各部屋
11月 25日	水	5時間目	インターンシップ事後 学習（発表準備）	企業ごとに発表。個人の発表も。グループ内で行う。	グループ別	各部屋
12月2 日	水	5時間目	インターンシップ発表	企業ごとに発表。個人の発表も。グループ内で行う。	グループ別	各部屋

2. インターンシップ受け入れ先企業一覧

番号	会社名	番号	会社名
1	SBS ゼンツウ	36	じてんしゃ屋はすぬま
2	西ヶ原東保育園	37	有限会社 シヤレル 「Hair Salon SHAREL」
3	(株)ねぎしフードサービス	38	女塚保育園
4	日本生科学研究所	39	ACADEMIA くまざわ書店東急プラザ蒲田店
5	(株)フジワーク	40	おなづか小学校
6	西友大森店	41	(株)ランド・ホー
7	読売センター大森	42	ホームステーション らいふ蒲田
8	萩中保育園	43	佐川急便株式会社羽田営業所
9	善光会	44	日本通運株式会社 品川支店
10	(株)アルプス物流	45	チャイルドケアセンター青い鳥
11	池上図書館	46	UPS・ジャパン株式会社
12	有限会社 柳井豊店	47	ときわ給食センター
13	池上福祉園	48	島忠ホームセンター大田千鳥店
14	池上警察署	49	(株)矢沢電気商会
15	東京法務局城南出張所	50	ペットショップ ピュアアニマル
16	立正大学	51	さんぼう
17	ライフコーポレーション ライフ大森中	52	日本メンモウ
18	(株)ケアサービス	53	大田区役所
19	佐川グローバルロジスティクス株式会社	54	渡辺化成工業(株)
20	イオン品川シーサイド店	55	(株)万永
21	オオゼキ	56	(株)山田紙器
22	第一蒲田保育園	57	(株)上柳組
23	ヘアサロン ネモト	58	(有)勝田商店 料亭秀
24	アドバンストヘアー ナカタニ	59	三慶商事(株)
25	野村証券株式会社	60	竹内工業(株)
26	(有)友寄	61	秋山錠剤(株)
27	アートコーポレーション東京南支店	62	(株)よろづ絞製作所
28	森田鑄工業株式会社	63	(有)センターヴィル動物病院
29	山王保育園		
30	光明幼稚園		
31	株式会社 平川「BEACH」		
32	光写真印刷株式会社		
33	矢口消防署		
34	(株)塚崎製作所		
35	大田区立新井宿福祉園		

期間中

インターンシップ日誌			
日付	年 月 日 ()	年 組	番 氏名
本日の目標			
時間帯	作業内容		
本日の反省・感想			

事後指導

インターンシップ自己評価表				
※該当する箇所には口をつけてください。				
1年 組 番 氏名				
評価項目		良い	普通	悪い
言葉遣い	出社、退社時にしっかり、明るく挨拶ができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	適切な敬語を使って話すことができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指示や質問に、はっきり回答ができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
勤務態度	積極的に仕事(作業)ができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指示を十分理解して仕事(作業)に取り組めた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指示、連絡事項を的確にメモできた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仕事の責任感	仕事(作業)中、私語を慎むことができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	仕事(作業)を行う上で自分なりの課題を見つけて取り組めた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	整理・整頓・清掃は十分できた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他全般	仕事(作業)場で適切なコミュニケーションがとれた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	仕事(作業)をするうえで安全を心がけることができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	出社、退社時の服装は定められたものであった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	清潔な身だしなみであった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	企業(事業所)の就業規則を守ることができた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

インターンシップ報告書	
1年 組 番 氏名	
企業(事業所)名	
項 目	内 容
企業(事業所)の事業内容	
体験で学んだ仕事(作業)内容	
職場の人たちから学んだこと	
働くことの楽しさをどこでどのよう感じたか	
働くことのやりがいやどこでどのよう感じたか	
得意、企業(事業所)で働くために必要なこと	
会社人としてのマナーについて	
興味や関心を持ったこと	
実務の実際の仕事(作業)と自分の学習	
得意の自分の強みや得意な状態に学んだこと	
その他学んだこと、感じたこと	

4. 企業からのインターンシップについてのアンケート

企業(事業所)へのアンケート集計結果

(回答 48 社)

1) 今回、本校のインターンシップを実施して、全般にいかがだったでしょうか。

良かった	良くなかった	どちらとも言えない	その他
44	1	8	2

2) 生徒の取り組む姿勢は、いかがだったでしょうか。

良かった	良くなかった	どちらとも言えない	その他
46	42	4	3

3) 3日間というインターンシップ受入期間は、いかがだったでしょうか。

長い	ちょうど良い	短い
8	42	5

4) 来年度の受入れに対しては、どのように考えられていますか。

積極的に受入れたい	依頼されれば受入れる	協力できない	まだわからない
23	23	0	9

インターンシップに協力していただいた企業からの意見を掲載します。(自由記述)

- 大変真摯な生徒さんらの取り組み態度に、弊社社員も教え伝える立場として大いに学習になりました。
- 二人とも笑顔があり、元気よく取り組んでいただけたと思います。大変好印象でした。慣れない仕事で大変だったと思います。
- 社会に出るというビジョンが見えていないなかでのインターンシップではあまり意味がないと思う。1年生ではなく3年生の方がインターンシップは意味があると思う。
- 受け入れ側もほどよい緊張感があり良かったと思います。また高校生が職場にいることでフレッシュ感もありました。
- 初めてのインターンシップ受け入れだったのですが、中学生の職場体験よりも将来を考えての参加だったのではと思える積極性があった様に感じました。
- 障害者福祉の理解が今回のインターンシップで深まったのではないかな。
- 生徒の作業に対する飽きがみられました。弊社も高校生の受け入れが初めてであり、普段中学生の受け

入れの為戸惑いがありました。真剣に取り組む生徒とそうでない方が明確にわかりました。

○生徒たちの学ぶ姿勢や積極さには従業員も刺激を受け、また新しい気持ちで仕事に取り組んでいます。またこのような機会がありましたら受け入れたいと思いますのでその時はよろしくお願いします。

○最初は緊張していたのでしょうか表情も硬かったのですが、次第に笑顔も沢山見られるようになり楽しく体験できているように感じました。子供たちはいっぱい甘えさせてもらい、雑用もよく手伝ってくれて助かりました。

○まだまだ子どもですので働くという事は理解していない様子です。働く大変さや現実の厳しさを少しは知って頂けたかなという事では今回受け入れてよかったのではないかと思います。

○御校との取り組みは初めてでしたが、皆様の準備もよく対応していただき、又生徒の皆様もルール等遵守され前向きに取り組んでいただきました。

○今回参加されていた生徒さんは緊張されていたのか、あいさつ・返事・会話の面で消極的に感じられる場面が多かったのが残念です。決して不真面目という事ではなく、指示や指導に対しての取り組み自体は真剣でした。長くはない期間でできるだけ学んでいただきたいと思いますので、円滑なコミュニケーションをとれるよう、今後は事前にご指導いただければ幸いです。

○子どもたちはお兄さん、お姉さんに遊んでもらえて喜んでいました。また午睡の準備、片付け等手伝ってもらい助かりました。頼んだ仕事は返事良く動いてくれましたが、事前の打ち合わせに筆記用具を持って来ない、日々の記録を提出しない等、生徒の意欲や学校の指導が足りていないのではと感じることがありました。

○実施時期について事前にご相談いただけると助かります。

○私共は製造会社の為、生徒さんにとっては面白くない職場だとは思いますがこんな仕事もあるのかと解っていただけただけでも良かったです。

○何を知りたいか、体験したいのかをもう少し明確にしてもらえるとこちら側の計画も立てやすくなると思います。

○4名ともよく頑張ってくれました。中学生とは違い仕事の意気込みが感じられ良かったです。

○あまり積極性が無かったように感じられます。年齢的な所もあると思いますが、社会勉強として学ぶのであればおとなし過ぎと思いました。あとはもう少し楽しそうに学んで欲しかったです。

○今回のインターンシップを通じて感じた事ですが、生徒さんの意欲が感じられなかったことが少し残念でした。生徒さんの的には一生懸命行っていたと思いますが、指導したことに対し返事のないことがあったり、積極性に欠けていたりどこかインターンシップをやらされている感があったように見受けられました。折角の機会ですから生徒さんには是非明るく楽しみながら職場体験をしていただければと思います。

○インターンシップの受け入れを通じ私共も自らの企業を振り返るきっかけとなりました。

○インターンシップ生からは「福祉に興味があつて」との話もありましたが貴重な職場体験の機会ですので、本人が興味のある職場を体験させてあげるとより効果があるのではないかと思います。

○あらかじめ学校との打ち合わせを密にして前もって職務についての下準備が出来ればと思いました。

○人数が多く大変であった。期日は別でも二回に分けてもらった方が助かります。

○遅刻した生徒と連絡が取れないのはいかなものか。

○普通科の生徒は大学進学、専門学校など進学を考えるのでは。

○インターンシップではやりたい仕事が見つけれられないのでは。

5. インターンシップ自己評価集計結果

評 価 項 目		良い	普通	悪い
言葉遣い	入社、退社時にしっかり、明るく挨拶ができた。	168	66	0
	適切な敬語を使って話すことができた。	162	69	3
	指示や質問に、はっきり応答ができた。	165	65	4
勤務中の仕事の態度	積極的に仕事(作業)ができた。	153	80	1
	指示を十分理解して仕事(作業)に取り組めた。	164	70	0
	指示、連絡事項を的確にメモできた。	78	119	37
	仕事(作業)中、私語を慎むことができた。	119	109	6
	仕事(作業)を行う上で自分なりの課題を見つけて取り組めた。	110	112	12
	整理・整頓・清掃は十分できた。	166	67	1
	仕事(作業)場で適切なコミュニケーションがとれた。	166	63	5
その他全般	仕事(作業)をするうえで安全を心がけることができた。	184	50	0
	入社、退社時の服装は定められたものであった。	180	54	0
	清潔な身だしなみでいた。	186	48	0
	企業(事業所)の就業規則を守ることができた。	194	39	1

インターンシップを終えての気持ちについて（自由記述※抜粋）

- 社会に出て働くことの大変さを学ぶことができて良い経験となった。
- 最初は大変そうで嫌であったが、実際やってみると楽しくて良かった。
- 将来の夢の職場に行かせてもらい、この仕事についたらこんなことをするのかとイメージがついた。
- 仕事に対する意識が体験前より大きくなった。
- 交通費実費負担が、ある人とない人と違いがあるのはどうにかならないか。
- 社会の厳しさを痛感した。

6. インターンシップ実施成果報告

〈成果〉

本校においてインターンシップ実施は初年度であり、インターンシップ実施についての経験や知識が全くないところからのスタートであった。担当者は常に手さぐりの状態で進んだ一年間であった。また多くの生徒が実施前には実際に企業を訪問しその中で仕事をすることに不安を感じている様子であった。

このような状況で実施されたインターンシップであったが、インターンシップに参加した生徒の感想文や報告書を見ると、「ミスの許されない仕事の厳しさ・社会の厳しさを痛感させられた」といったものや「社会に出て働くことの大変さを身をもって感じた」等、校外において保護者や教師以外の大人と接したこの三日間はかなりの緊張を強いられ刺激に溢れた経験であったようだ。

しかし参加生徒の88%が「よかった」11%が「どちらかともいえない」1%が「よくなかった」と回答しており、また「よくなかった」と回答した生徒もインターンシップを終えての気持ちについて半数が「満足している」と回答している。このような結果から多くの生徒がインターンシップを経験し仕事の大変さや社会の厳しさを味わいつつも、「働くこと」の大きな達成感や充実感を得られたようである。また「仕事の意義」「社会への貢献」を考えるきっかけとなったという回答も多数あり、今回のインターンシップを通じて生徒たちが適切な勤労観や社会観を身につける、もしくは考えるきっかけとなったようだ。なお、自分の希望する進路とインターンシップ先がマッチしていた生徒は、「夢の実現に向けての具体的なイメージが持てた」「益々この仕事について興味を持てた」と回答しており、主体的な進路希望選択に向けて役立てることができたと思われる。

「インターンシップで学んだこと」について、「働くことの厳しさ・楽しさ」を挙げた生徒が最も多く、次いで仕事をするうえでの「人間性やチームワークの大切さ」を挙げた生徒が多数いた。大人たちが仕事を進める姿勢を間近で見ることで、コミュニケーション能力や協調性の大切さを生徒自身が実感できたことは得難い経験であった。

体験先を訪問した先生方の意見から、「学校内においては見ることでできない生徒の真剣な表情が見られた。」「普段は無愛想な表情で教師に接する生徒がお年寄りに優しく接する様子が見受けられ感動した。」等の報告が挙げられた。また「生徒の学校とは違った側面がみることで生徒理解が深まった。」などの意見が多数聞かれた。体験生徒の真剣な表情や、終了した後の生徒の自信を持った顔つきを見てもインターンシップで得られた成果は大きかったのではないかとと思われる。

〈課題〉

企業からのアンケートにおいて、多くの企業から事前の学校と企業との打ち合わせを密に行う必要性を指摘されている。また本校の生徒の実態に即したインターンシップ先であったのか、配置人数は適切であったのか等、今後検討を有する課題がある。

インターンシップ期間中において、生徒の希望する進路とインターンシップ先が必ずしも一致しておらず、モチベーションの低いまま生徒がインターンシップに参加してしまい迷惑をお掛けする事例があった。また生徒の積極性がみられないなどの意見が企業から多数寄せられている。事前指導において綿密な希望調査の実施、面談等を通じて限りなく生徒の希望に沿った体験先の決定を行う必要性が求められる。さらには「働くことの意義」や「社会に出るということ」などより丁寧に指導していくことが必要である。

運営については、次年度以降の実施を考えるのであれば定員増にあわせて更なる受入れ企業先の確保が急務であろう。また今年度混乱の見られた、進路指導部と学年団との業務分担の在り方や連携を密に行う必要性がある。さらにはインターンシップ訪問先が多岐にわたるゆえ、今年度同様、全教職員の共通理解のもと、全校体制で指導を行う必要性があげられる。

7. インターンシップを終了した生徒の感想文（抜粋）

「インターンシップを終えて」

1A

私は、渡辺化成工業株式会社でインターンシップを行いました。元々私はプラスチックの仕事は考えていなかったのですが、今回のインターンシップを通して、自分のやりたい仕事が増えたと思いました。

私が三日間行った作業はテレビの部品を作るということです。手作用で一つ一つ作るので、すごく大変でした。おそらく三日間でこの部品を2000個ぐらい作ったと思います。この作業は本当に目が疲れてしまうので終了した時は大きな達成感を得ることが出来ました。

たった一つの部品が私たちの生活の役に立っていること知ることが出来たと思います。

しかし、一番印象に残ったことは、作った部品や、作る前の部品を知的障害者施設に持っていき、色々な人話したりすることができた事がとても嬉しかったです。障害を持っていてもお金が稼ぐために一生懸命働く様子に大きな感動を覚えました。

将来の夢は考えていなかったのですが、こういった作業をする仕事もとても魅力的と思いました。この三日間はとても大切な思い出になると思います。



「インターンシップを終えて」

1A

私が、三日間日本メンモウ株式会社で体験させていただきました。想像していた規模より会社が大きく、社員の人は外に営業に行ったり、制服のデザイン、製作などを行っていました。

一日目の午前には講義を受け、午後からはイトーヨーカ堂に行き実際に話を聞いたりしました。二日目は埼玉県某市にある流通センターに行きピッキング作業、検品、梱包、送り状の貼り付けを行いました。三日目はKANKOグループのオフィスで制服のデザイン、企画を実習で行いました。リボンを先に決めてからスカートを決めようとしたら、意外に迷い時間がかかりました。皆さんの前で発表をしたら、「凄く分りやすかった」と言ってくださりとても嬉しかったです。みんなの意見をまとめて、制服に込めるというのはとても大変でした。

今私たちが着ている制服をデザインしたのが日本メンモウだと知った時は大変驚きました。今の制服を着られるのは、先生方、地域の方、日本メンモウさん、職人の方のおかげなので三年間きちんと着て学校へ行きたいと改めて感じました。

「大田区役所」

1B

今回のインターンシップで様々な事を得ることが出来ました。

大田区役所はどんな役割を果たしているか理解が不十分な状況で迎えることになって期待はもちろん、不安もありました。

第一に施設の構造に驚きました。元々スポーツセンターになる予定であつたらしく、広さはもちろん内部の形状が独特でした。部署の数も想像以上でそれだけ街の役に立っているのだなと感心しました。その中で「介護保険課」に努めさせてもらいました。名前を聞いただけでは制度のイメージもつかず、逆に興味がわきました。事前に制度のお話を聞き作業している中で内容を理解することが出来ました。個人情報や資料を扱う責任感を感じました。初めてのデスクワークに慣れず非常に苦労しましたが、周りの皆さんが優しく教えてくださり、速さより正確さということも学びました。慣れてきたころに、他の部署で給付の仕事も体験させて頂き、仕組みを知ることが出来てよい経験となりました。



事務作業の他に特別養護施設の訪問もさせていただき、リハビリ、生活の様子を実際に見ることが出来てイメージすることが出来ました。病気で不便な生活をしていた方も施設で変わることができたと知りました。一人でリハビリも入浴もこなしていて凄いなと思いました。それは互いに褒め合いが源泉になっていると感じました。

今回の経験は普段経験できないことも体験・実感することが出来ました。とても為になり自信に繋がりました。これからこの自信を何かに活かしていきたいと思います。

「インターンシップを終えて」

1 B

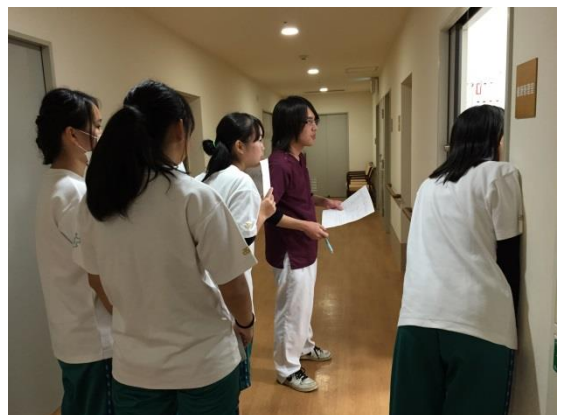
私は、ホームステーションらいふ蒲田に行きました。楽しかった事もありましたが、大変な事もたくさんありました。

まず一日目は、掃除をしたり入居者さんとおしゃべりをしたりしました。最初は、何を話してよいのか分かりませんでした。段々と打ち解け話が盛り上がっていきました。その時は嬉しかったです。

二日目は、入居者さんの人から戦争の話をしていただきました。その方は原爆の被害者でありその経験をはなしていただきました。その話を涙ながらに話していらして、とても胸が痛かったです。今の私たちの境遇が幸せだと感じました。

三日目は、入浴のお手伝いをしました。入居者さんが脱いだ服を洗濯の網に入れたり、髪を乾かしたりしました。髪の毛を乾かす時は、ドライヤーの熱を気にかけて乾かしました。職員の方たちは入浴にかかる時間までも配慮しており大変だと思いました。実際に入居者さんの乗っている車いすを押したときは大変緊張してしまいました。

今回多くの事を学ばせていただき、今後の学校生活に活かしていきたいと思いました。また、「らいふ蒲田」に必ず顔を出したいと思います。この三日間で学んだことは私にとって貴重な財産となりました。この事を忘れず将来について考えていきたいと思います。



「社会の厳しさ」

1 B

今まで、学校でも部活いろんなところで「ミスを恐れない」という事をよく言われた。この言葉はミスをして

大丈夫と思えば何事にも積極的になれる。しかし社会ではそれは許されない。

私はインターンシップで日本メモウという会社に三日間行った。その二日目に流通センターへ行き、流通業務体験をさせてもらったのだが、その時私はひどく緊張した。ミス絶対犯してはいけないというプレッシャーをすごく感じてしまったのだ。その流通センターではミスを起こさないための工夫が数えきれない程あり、軽い気持ちで作業が出来なかった。私は社員の真剣に取り組む姿やたくさんある工夫を見て社会はこんなに厳しいのだと思った。しかし、こんなにも厳しくミスが許されない中で最後まで作業に取り組めたのは明るく接してくれた社員の皆様のおかげだと思う。忙しい中優しく丁寧に説明してくださり、分からない事があって質問すると笑顔でそれに答えてくれた。そのおかげで大きなハプニングがなく作業を終えれたと思う。本当に嬉しかったし作業も楽しかった。

三日間で社会のマナーや仕事の大変さ、厳しさ、そして社員の方のあたたかさなど学校では学べないたくさんの事を学べたことは本当に良かったと思う。

「大人になる上で必要なこと」

1 C

僕は、今回のインターンシップで矢口消防署に行き、これからの人生に必要なことや大切なことをいくつか学びました。

一つ目は、会社へ行って人と会った時にするあいさつです。あいさつをすると一番最初の相手からの印象も良くなり、顔を覚えてもらうのにも大切な一言だと思います。実際に消防署に行き、最初に長嶋さんという方から、「消防署の職員には、しっかりあいさつをしてください。社会の中では当たり前のことです。」と言われました。今まで父や母が言っていた、しっかりあいさつしなさいという意味がわかった気がしました。



二つ目は、しっかりした言葉を使うということです。高校に入り、先生方にタメ口で話す人をよく見るようになりました。しかし、消防署に三日通う中で、社員の方がそのような話し方をしているところは全く見ませんでした。高校生の僕たちに対してさえも、「～です。」や「よろしくお願いします。」など、丁寧な言葉で話しかけてくださいました。

訓練をしていた消防士の方々が、「しっかりした言葉遣いは、チームワークを取る上でも、消防士同士の仲を良くする上でも必要で、大切なことだ。」とおっしゃっていました。今まで小学校や中学校の先生も同じことを言っていて、僕は言葉遣いは大切だと思っていました。今回のこの言葉を聞いて、大人になっても必要だから続けていこうと思うことができました。

このように、三日間で多くの大切なことを学ぶことができました。これからの人生や学校生活では、今回学んだことを生かして生活していこうと思います。

「あいさつの大切さ」

1 C

私は、三日間のインターンシップを通してあいさつの大切さを学びました。

私が行ったのは大森の西友で、大きなスーパーだったので人もたくさん来ていて、店内のどこにいても気が抜けませんでした。実際に任されたことは、商品の品出しと整理、そして掃除です。

品出しの時が一番気が抜けませんでした。商品を並べ間違えないようにと集中しすぎると、後ろにお客さんがいても気が付かず邪魔になってしまったり、あいさつを忘れてしまったりしましたが、社員の方はあいさつも忘れずに笑顔で接客していてすごいなと思いました。お店の中だけでなく、休憩所などでも笑顔であいさつを返してもらえた時はすごく嬉しかったです。

そこでふと、最近、自分はあいさつを適当に済ませることが多くなっていたなと感じました。朝のあいさつや廊下で先生とすれ違ったら、これからはしっかりと相手の目を見てあいさつしようと思いました。

アルバイトもしたことがない私にとって、すごく緊張した三日間で、始まる前日まではすごく嫌だなと思っていました。しかし、終わってみると、インターンシップに行っただけで少し自分に自信が持てたし、何よりあいさつの大切さを再確認できたので、行ってよかったと思います。

「インターンシップを終えて」

1 D

僕は、インターンシップでアート引越センターに行きました。アート引越センターでは吉田さんという方に沢山教えていただきました。例えば洗濯機をどのように梱包するのか、梱包するためには必要な道具の名前は何か、細かく丁寧に優しく教えてもらい、とても勉強になりました。一日目にアート引越センターについてのDVDを見ましたが、今まで引越センターに対して注目して見ていなかったのが、改めて引越センターの重要性を感じました。二日目は梱包と部屋の養生の体験をしました。部屋の養生は壁を保護するためのプラパネを使ったり、階段を保護するためのダンダンという名前のパネルを使いました。アート引越センターの人たちは決して雑に扱うことはなく、いつも丁寧に作業しています。作業自体はスピーディーにも関わらず、丁寧なのでとても凄いなと思いました。

三日目は、実際にアート引越センターで働いている様子を見に行きました。見に行った時にはほぼ作業が終わっているところでしたが、アートの方たちは余計な動きがなく素早い動きで感動しました。

この三日間を通して、なかなか経験しないであろう引越センターで働けたことはとてもいい経験になりました。特になんでも丁寧に扱うこと、チームワークを大切にすること、コミュニケーション能力の向上を大切にしていきたいと思います。

今まで注目して見ていなかった「0123」のトラックですが、インターンシップを終えてから、道を走るアート引越センターへの見方が変わりました。これからは仕事をするための大切さを理解し、将来に向かっていきたいです。

「インターンシップを終えて」

1 D

インターンシップを終えて、私は意外と短く感じた三日間でした。今回のインターンシップでは時間をしっかり守ることの大

切さ、コミュニケーション能力、挨拶などその他諸々ありますが、特にその四つが社会で通用するためには大切だと知りました。私が行ったヘアサロンネモトでは、スタッフとスタッフの関係がとても親しく仲良く仕事していくうえには信頼関係もほどよくないといけないことを知れました。

美容院で働くには最低でも三年間は、一番下の立場でした仕事しかあまりやらせてくれないようでした。初めは掃除などしかできないけれどそういった小さなことでもコツコツ貯めていくことが大切であることがわかりました。

今回のインターンシップでは美容室の仕事はみんなが思っている以上に大変で途中で辞めてしまう人が多いようですが、その大変さを乗り越えてお客さんを綺麗にしてあげる仕事は格好いいしやりがいのある仕事だと思います。私が将来就きたい仕事は美容師ではありませんが、同じ美容関係の業界であるので今回のインターンシップではとても良い勉強になりました。仕事の大変さを改めて知りました。

「三日間体験して学んだこと」

1 E

今回のインターンシップで、学んだことはたくさんあります。主に、三つのことを学びました。それは、挨拶、行動力、時間です。なぜ、その三つを学んだか書きます。

まず、挨拶です。初めて出勤した時、私はリーダーだということもあり、緊張していたのですが、職場の皆様が、笑顔で挨拶してくださり、緊張もなくなり、こちらも思わず笑顔になりました。大きな声で挨拶して、凄いなと思いました。私もあんな風になれたらいいなと思いました。

次に、行動力です。ホームセンターなので、他の店より広く、品数も多いので、お客様に物の場所などよく聞かれます。その度に、その場所まで案内して、そこのどの段にあるのかも教えます。これは、ベテランではないとできないことだと思いました。スタスタと歩いて案内する姿は、とても格好よかったです。

三つ目は、時間です。仕事をするうえで時間を守ることは、大切だし、当たり前なことですが、いざその中に入ると、時計を見ながら行動するのが難しく、お昼も、五分前に準備を始めたり、周りの人のことを見ながら行動しました。お昼休みも思ったより短く、ずっと一日中忙しかった感じでした。

この三つを学び、これからも今後の生活に活かしていけたらいいなと思いました。進路のことはまだ考えていませんが、今回のインターンシップを通じて、今からでも、少しずつ進路のことを考えていけたらいいなと思いました。この三日間は、社会の事も学ぶことが出来ましたが、凄く楽しく仕事をする事ができました。インターンシップは本当にいい経験になるので、また来年の一年生もやるべきだと思いました。



「インターンシップにて」

1 E

私は三日間池上福祉園という障害者の方々の生活をサポートする施設での仕事を体験させていただきました。私は体験前は障碍のある方が苦手でした。大声を出したり歩き回ったり。よだれを垂らしている人な



ど様々な方がいますが、私は苦手だったんです。そんな中、「三日間も障害者の方々と一緒にいるのか。」と
思っていました。初日の朝の挨拶をする時に私は笑顔で挨拶できなかつたと思います。初めて、近くで障
碍をもって
いる方々をみて言葉にならなかつたんだと思います。ですが半日ほどたつた時には慣れてきていま
した。たく
さんの方々とお話をしてみたり、利用者さんの手にネイルをしてあげたり、お話を讀んだりして
いました。そして
たら、話せないと思つていましたが、実は皆さん話していました。私達が耳を傾ければ話す
ことができたのです。私は少しうれしくなりました。なので、二日目はさらに積極的に皆さん
とお話しをしました。ひとり一人空いて
いるときにすることは違つていて、好みもあり、部屋での場所もおおよそ決まつていま
した。みなさん私と沢山
はなしてくれました。散歩では一緒に手をつないで楽しくお話を
して歩きました。お昼ごはんも皆さんの体の状態にあわせて作られていま
した。自分のこだわりがあり、それがないと嫌だという方がいま
した。そのため、自
分の家から、スプーンや食器、コップなどを持ってくる方も多かつたです。そのような自
分のこだわりがある方にはその
こだわりを施設でも許可しているそうです。ひとり一人の利用者さんの
こだわりを受け入れ、サポートする。介護とは奥が深く、生活の
ことをサポートするだけではなく、その方々ひとり一人に寄り添つて
いくもの
だと思つました。私は今回人の心に寄り添うということの難しさを学びました。

「女塚保育園での三日間」

1 F

私が女塚保育園で三日間過ごして学んだことや感じたことが
たくさんありました。

まず、初めに保育園に入って「小さい子と仲良くなれるかな。」
「ちゃんと小さい子のお世話できるかな。」などすごく不安で
した。でも、教室に入ると小さい子たちが近くにきて「遊ぼう。」
「お絵かきしよう。」と話しかけてくれてほつとし、すごく嬉し
かつたです。

そして、昼食の時間になりその時も「一緒に食べよう。」「お姉
さん先生のとなりで食べたい。」など言つてくれて本当にすごく
嬉しかつたです。その後、お昼寝の時間になり「みんなが寝たら先生
たちは何を
するの
だろう。」と思つていま
した。そうすると、先生たちは子供会の衣装決めなどをしていま
して私は、小さい子たちが使つて
いたイスを拭いたり、絵本が破れて
いたらそれを直したりなど
しました。

そして、お昼寝が終つておやつ
の時間になり、先生たちはおやつ
の準備や教室の掃除をしていま
して私も教室の掃除を
しました。おやつ
の時間が終つて園庭に遊びに行つたり教室で子供会の練習などを
三日間
しました。

私は、このようなことを三日間して小さい子に「遊ぼう」など
言われるとすごく嬉しいと改めて感じました。また先生たちは、小
さい子のお世話を
するだけでなく小さい子
が使つたものを直したり
子供会で使う衣装決めを
していまして小さい子
が知らない間にたく
さんの仕事を
していまして大変
ということが
分かりました、この三日間
で学んだり感じた
ことを忘れずに将来に
生かしたいと思つ
ました。



「インターンシップでの三日間」

1F

私は、このインターンシップでの三日間で社会人としての大変さなどをたくさん学ぶことができました。

一日目は、主に会社全体のことについてお話してもらい、私たちが通っている大森高校の制服についてなども教えてくれました。実際に制服を販売しているところについてどういう風に販売されているのか見て知ることができました。実際に販売しているところでの大切なことは、一人ひとりにきちんと合ったものを着用させるということは大事だと思いました。

二日目は、物流センターに行って制服を箱詰めしたり、注文されたものを倉庫で探してきたりとやりました。ここでは、注文されたもの通りにやらないと間違えたものがお店に届いてしまったりするので慎重にやっていたかなければならない大変さを学ぶことができました。仕事を実際にやってみて最初は難しいと思ったけど、しばらくやったら意外と楽しくできました。

三日目は、社会人としてのマナーを学ぶことができました。社会人としてあいさつが一番大事であるなと思いました。午後は制服の企画をやりました。制服の企画は、それぞれの高校の環境や特徴に合った色などを選んでいかなければならないのでその大変さを知ることができました。

この三日間インターンシップをやって三日間とも共通していることは、どんなときでも適当にならず真剣にそして慎重に取り組んでやらなければならないということを学ぶことができました。

